

# 伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターニュース

## バス・バスターズ、 11年目突入！！

(公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団  
(事務局)  
〒989-5504  
宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2  
Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217  
ホームページ: <http://izunuma.org/>  
E-mail : [izunuma@circus.ocn.ne.jp](mailto:izunuma@circus.ocn.ne.jp)



### ◆ サンクチュアリセンター修繕工事のお知らせ

宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターでは、施設の老朽化に伴い、本年6月下旬より10月にかけて、屋根及び外壁等の修繕工事を実施します。皆さん方には大変ご迷惑をおかけしますが、その間工事内容によっては閉館して、実施する場合がありますので、ご理解とご協力よろしくお願ひします。

また、修繕箇所が広範囲となった場合などは、工事期間が更に延長されることもありますので、ご来館される場合は、予め開館状況等について当財団事務局までお問い合わせ願ひします。

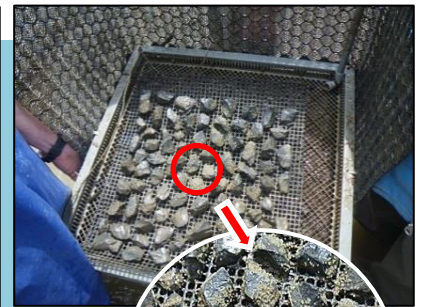
### ◆ 活動報告

#### バス・バスターズ2014

5月18日(日)、5月25日(日)の報告

沼の魚やエビを食べるブラックバスの駆除を目的に結成された「バス・バスターズ」の活動が始まりました。

沼に設置した150基の人工産卵床(ブラックバスを卵の段階で駆除する装置)を確認しました。そのうち産卵が確認された2ヶ所については、その場で駆除処理しました。また、ブルーギルを餌として入れたアイカゴでは、ブルーギルの成魚4匹を捕獲し、同様に駆除しました。



ブラックバスの卵。  
この産卵床には、卵  
が数千個ありました。



宮城県伊豆沼・内沼  
サンクチュアリセンター

活動箇所

## ◆ 伊豆沼・内沼いきもの図鑑

### ナマズ *Silurus asotus*

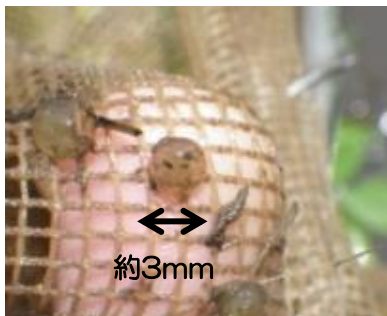


見られる時期 : 5月上旬～7月  
見られる場所 : 沼周辺の田んぼや水路  
食べ物 : ゼリガニ、小魚、カエル

ナマズは漢字では魚へんに念(ねばるの意味)で「鯰」と書きます。体を触るととてもネバネバしているので、それが由来です。英語では「catfish」と書きます。ナマズの顔を見るとひげが4本生えているのがわかります。それが、猫のひげに似ていることが由来です。おもしろいですね。

ナマズは田植えの時期の夜中に田んぼや水路に移動します。この時、体の大きなメスに小さなオスが従うように泳ぎます。そして、オスがメスにぐるりと巻き付いて卵を産ませます。こうした光景が見られるのは、昔ながらの田んぼや水路がナマズの出入りが自由にできたからです。

伊豆沼・内沼周辺のに工区の水田では、夜中にナマズの産卵が観察できる場所があります。大切にしたいですね。



ナマズの卵



ナマズの幼魚 (5cm～20cmくらい)



5月8日

伊豆沼周辺の田んぼで、実際にナマズの産卵行動が見られました。

### 残留マガンについて

羽を怪我するなどして北へ帰れなかったマガンが9羽残っています。

このマガンは1工区の水田を中心に田植え後の水田に入って、農家のみなさまにご迷惑をおかけしています。この場所は国の鳥獣保護区であるため、5月23日に環境省が中心となり、宮城県、栗原市、農家、財団で追い払いを行いました。しかし、9羽のうち8羽は飛ぶことができるため、追い払いが容易ではありません。環境省でもさまざまな対策を検討しているようです。私たちも気をつけてまいりますので、どうかみなさま方のご理解をお願いします。

